

中央本部青年女性委員会 第12回ユースタディ

被災の教訓に学び 防災・減災への意識を高める

中央本部青年女性委員会を高め、日々の安全行動につなげていってほしいとの挨拶があった。

高杉青年女性委員長は、「青年女性委員会活動における仲間づくりは、レクリエーションだけでなく、システムを超えた同世代の仲間との勉強会を通じた意見交換も重要である。過去に何が起き、これから何が起き

のかを考え、各地本総支部に持ち帰ってほしい」と挨拶した。

アイスブレイクにより参加者の緊張をほぐした後、「阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター」へ移動し、震災当時の状況や教訓について学習した。

見学後は、JR西労組中央本部の川原副執行委員長より「災害はいつ起きてもおかしくなく、JR西日本エリアのどこで勤務している時に発生するかわからない。日頃の備えとにも、様々な状況を想定して行動していきたい」「災害を防ぐことはできないが、日頃の備えによって『減災』につなげていきたい」といった意見が出された。

ユースタディを通じて、仲間づくりをはじめ、防災の観点から「安全」について多角的に考え、取り組みことの重要性を学んだ。

最後に、準備運営に尽力いただいた神戸地本青年女性委員会の皆様に、心より感謝申し上げます。

冒頭、準備地本を代表して後藤青年女性委員長より、阪神・淡路大震災から復興を遂げた神戸の経験と教訓に触れ、「本ユースタディを通じて防災・減災への意識



各地本・総支部から参加者およびスタッフを含め約60名が参加

準備地本を代表して挨拶する神戸地本後藤青年女性委員長

主催者を代表して挨拶する中央本部高杉青年女性委員長



アイスブレイクで緊張をほぐす参加者



川原中央副執行委員長による特別講義

JR西労組ユニオンカレッジ 第218期「安全衛生委員会役員実践コース」安全への取り組みの重要性を再認識

JR西労組中央本部は、2026年4月11日(土)、U.A.ゼンセン大阪府支部において、ユニオンカレッジ第218期「安全衛生委員会役員実践コース」を開催し、受講生と事務局を含め35名が出席した。

開講式では、主催者を代表して、杉野教育部長が挨拶の中で、安全衛生委員会の活用的重要性について課題提起を行った。

講義では、労働安全と安全衛生委員会(安全推進会議)の意義や進め方、安全お守り手帳の活用方法について学んだ。

また、グループワークでは、お互いの意見を出し合い、各職場の良い取り組み等を情報共有した。



各職場の良い取り組み等を情報共有した

受講生からは、「改めて安全衛生委員会の重要性と必要性を認識できた」「安全お守り手帳の中身を深く知ることができた」「他の職場や他会社と交流ができ、参考になる意見を聞くことができた」といった好意的な声を多数聞いた。また、ユニオンカレッジを通して会社やシステムを超えて交流が図られ、お互いに学び合うことができるようになった。



受講生と事務局含め35名が出席

ロマンは実を結ぶ

和歌山地本 田辺保線区分会

No.382

田辺保線区分会は、和歌山保線区内における紀勢線

の、紀南エリアの線路を保守する保線系統の、職場に所属する組合員で構成されています。保守範囲は、紀勢線広川ビーチ駅〜新宮駅までとなっており、鉄道営業キロは約160kmを保守しています。



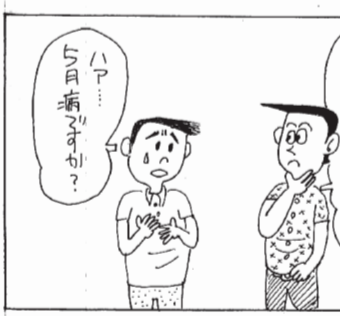
2025年12月12日に行われた第35回田辺保線区分会定期大会での上崎委員長の団結ガンパロー



2025年11月23日に紀三井寺公園陸上競技場で行われた「わかやまりレーマロンパンダRUN」を走り終えた皆さん



2025年7月19日に行われた分会レクBBQ



す。紀勢線の南部は、特に、山間部を走る地域であるため、樹木伐採や沿線の除草対応、また、獣害処理対応が非常に多いのです。

また、和歌山県南部は近年、少ないものの、過去から台風接近・上陸が多い地域なので、シーズンになると警備体制に非常に苦労しています。

分会の所属組合員は約30名です。執行委員会の随時開催や紀伊田辺支部との連携により、支部活動にも積極的に参加をしています。近年では各管理室にも中堅層が配属され、中堅と若手が中心となっています。

和歌山地本が主催するレク活動についても、若手を中心に参加し、2025年9月に行われたフットサル大会での3位入賞や、毎年県主催で

開催される「わかやまりレーマロンパンダRUN」についても、連合和歌山より直々に依頼を受け、「職場仲間の交流を図りながら、将来への運動の継承と組合員相互の信頼構築を行いたい」と考えています。

今後も、分会独自のレクリエーションや地本支部主催の各種行事、また連合地協との交流を図りながら、将来への運動の継承と組合員相互の信頼構築を行いたいと考えています。

〈和歌山地本発〉